

平成30年度(第54回)熊本市学校環境緑化コンクールについて

1 目的

各小中学校における環境緑化活動の取組並びにその評価及び環境緑化の充実に向けた助言などにより、主体的に緑豊かな環境づくりに取り組み持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成を図り、学校緑化の推進を支援する。

2 主催 熊本市、熊本市地域みどり推進協議会、熊本市教育委員会

3 後援 熊本朝日放送、熊本日新聞社、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ

4 日時

(1) 審査部門	事前審査会	平成30年 9月 7日(金)	14:30~16:30
	現地審査会	平成30年 9月26日(水)	8:45~16:00
		平成30年10月 1日(月)	8:50~15:40
		平成30年10月 3日(水)	8:50~14:20
	最終審査会	平成30年10月 3日(水)	15:30~16:30
	表彰式	平成30年11月20日(火)	14:00~14:30
(2) 相談助言部門		平成31年 1月15日(火)	9:00~16:00

5 内容

- (1) 審査部門：審査基準に基づいた書類審査を行う。書類審査後の現地審査対象校については審査及び助言指導を行う。
- (2) 相談助言部門：学校環境緑化推進のあり方について助言指導を行う。

6 参加校

- (1) 審査部門：小学校27校・中学校16校・計43校
(現地審査：事前審査を通過した小学校14校・中学校14校・計28校)
- (2) 相談助言部門：小学校11校・中学校8校・計19校

7 本年度の特徴

- (1) 参加校は、昨年度から1校増加(小学校1校減、中学校2校増)し、学校総体としての取組、土作りや種から育てるなど、昨年度の課題を改善している学校などの努力が見られた。
- (2) 児童生徒の環境緑化に意欲的に関わる様子が作文、絵などで表現されるようになってきた。

8 熊本市賞受賞校

若葉小学校

「命を大切に作る心・希望と夢を育てる」をテーマに、緑化活動を通して「命を大切に作る心」「感謝する心」を育てる地道な取り組みが続けられている。壮大なスケールの緑のカーテン、愛校心を高めるシンボルツリーの活用、花に囲まれた人権標語作品などの工夫はもとより、落ち葉を集めての堆肥作り・牛糞での土作りなど、子ども主体の土台のしっかりした活動が評価された。なお、各学年の花は子ども達がこぼれ種・挿し芽から育てており、各教科の学習との関連が図られている。

北部中学校

「日本一通いたくなる 花いっぱい学校 北部～豊かな心を育む環境緑化活動～」を環境緑化教育の目標に掲げ、緑化委員会の生徒を中心に、種子からの栽培活動や花、緑いっぱいの美しい環境づくりに取り組んでいる。「フラワー通りから体育館前までの花いっぱいの環境の維持・管理」、「落ち葉を集めての堆肥作りや種からの栽培」、「地域をたくさんのお花で明るくする花植えボランティア活動」等が評価された。本校研究テーマ「人とつながる社会とつながるESD」とも関連させ、活動をSDGsの視点で取り組んでいることも特徴である。

9 若葉小と北部中の環境緑化活動のようす

若葉小



児童のアイデアによる花壇作り



壮大なスケールの「緑のカーテン」



地域の方々とのパンジーの種まき（協働して管理）



教科との関連を図った活動（生活科）

北部中



花いっぱい環境の維持（体育館前）



地域に花を植えるボランティア活動



育てた花を美術科での水彩画基礎技法に活用



土作りから自分たちで取り組む（堆肥づくり）

平成30年度（第54回）熊本市学校環境緑化コンクール審査結果

指導課

賞区分	小学校	中学校
熊本市賞	若葉小学校	北部中学校
熊本市地域みどり推進協議会賞	芳野小学校	白川中学校
熊本市教育委員会賞	出水小学校	帯山中学校
中央区賞（K A B賞）	帯山西小学校	白川中学校
東区賞（熊日賞）	健軍小学校	長嶺中学校
西区賞（T K U賞）	河内小学校	花陵中学校
南区賞（R K K賞）	川尻小学校	日吉中学校
北区賞（K K T賞）	弓削小学校	五霊中学校
特別賞 昨年度、熊本市賞で本年度も評価が最も高かった学校	西原小学校	該当なし